



独立行政法人地域医療機能推進機構

JCHO

Japan Community Health care Organization

JCHO九州地区

診療放射線技師

我ら全国ネットのJCHOは地域住民、行政、
関係機関と連携し地域医療の改革を進め安心
して暮らせる地域づくりに貢献します

What is JCHO?

- ◆全国に広がる病院群で、ナショナルスケールメリットがあります。
- ◆病院だけではなく、介護老人保健施設を有し、リハビリテーション体制も充実しており、超高齢社会のニーズに対応するポテンシャルがあります。
- ◆このため、「急性期医療～回復期リハビリ～介護」のシームレスなサービスを提供できるグループとして、時代の要請に応える使命があります。



- 病院 57施設
- 介護老人保健施設 26施設
- 訪問看護ステーション 28施設
- 地域包括支援センター 13施設
- 健康増進ホーム 1施設
- 看護専門学校 7施設

JCHO 九州地区

- 病院 14施設
- 介護老人保健施設 7施設
- 訪問看護ステーション 7施設
- 地域包括支援センター 1施設



地域における医療連携の取組

地域の病院、診療所との患者の紹介、逆紹介を推進
 地域医療連携室・患者相談窓口の強化
 地域連携クリティカルパスの取組の推進
 地域の病院とCTやMRIなどの高額医療機器の共同利用を推進
 地域に開かれた開放型病床の運営
 地域の医療従事者及び地域住民に対して研修を定期的に開催

- 地域医療支援病院 16施設
- 地域がん診療連携拠点病院 3施設
- 都道府県が指定するがん診療連携推進病院等 15施設
- 地域包括支援センター 13施設
- 地域リハビリテーション支援センター 4施設

5つの医療で地域のニーズ対応

5事業5疾病

1) 5事業（救急医療、災害医療、へき地医療の支援、周産期医療、小児医療）

① 救急医療・・・地域住民と地域医療に貢献するために、救急医療に積極的に取り組み、救急患者の受入数の増加を目指します。

- 救命救急センター : 2施設
- 救急医療提供病院 : 57施設

② 災害医療・・・大規模災害が発生した場合には、被災地の実情に応じ、災害発生初期のみならず持続的に支援を行います。

- 災害拠点病院 : 13施設
- 災害支援病院・協力病院・救護病院 : 14施設

③ へき地医療・・・へき地を含む医師不足地域への支援について、全国的なネットワークを活かして協力をを行います。

- へき地医療拠点病院 : 4施設
- へき地診療の支援 : 12施設
- へき地診療所の指定管理者 : 2施設

④ 周産期医療・・・分娩数、ハイリスク分娩数、母体又は新生児搬送の受入数について増加を目指します。

- 地域周産期母子医療センター : 6施設
- ハイリスク分娩を取り扱う病院 : 15施設

⑤ 小児医療・・・小児救急患者の受入数について増加を目指します。

- 小児救急医療（病院群輪番制・夜間休日対応） : 23施設

2) 5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）

地域のニーズを踏まえ、各病院においてこれまでの取組の充実を行います。



研究事業

地域医療機能の向上に係る調査研究の推進

健診事業・診療事業・介護事業で得られたデータを統合し、公衆衛生学・社会的なアプローチも含めた調査研究を行い、その成果を地域の課題解決に係るモデル等として情報発信します。

各関連機関と連携した取組（臨床研究及び治験の推進）

JCHOが有する全国ネットワークを活用し、EBM（エビデンスに基づく医療〈Evidence Based Medicine〉）推進のための臨床研究を推進します。また、治験・市販後調査にも取り組みます。



教育研修事業

地域の医療・介護従事者や地域住民に対する教育活動

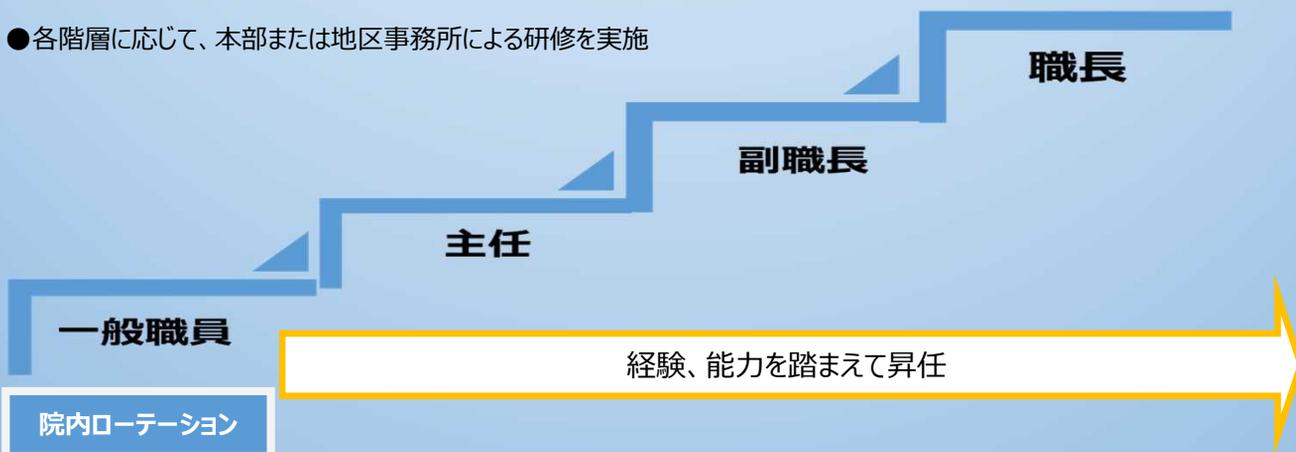
地域の医療・介護の従事者に対し、地域連携等に係る研究会の開催や医療従事者の人材育成に係る研修事業を実施します。

地域住民の健康の意識を高めることなどを目的として、地域住民を対象とした公開講座等を開催し、地域社会に貢献する教育活動を実施します。

地域医療・地域包括ケアの要となる人材の育成

JCHOの特色を活かした臨床研修プログラムやキャリアパスにより、JCHOが担う医療等に対する使命感をもった職員の確保・育成に努めます。

- 各階層に応じて、本部または地区事務所による研修を実施



JCHOではキャリアアップの一環として、採用病院での勤務では得られない、管内他病院での特徴ある医療を経験できるよう異動を行い、視野の広い医療専門職を養成し地域医療を支えます。※異動は、各職員の事情を考慮します。

先輩職員からのメッセージ

地域医療を支える病院の一員として

JCHO 諫早総合病院の放射線科では、放射線科医師が読影する画像を全て技師が作成することで、読影補助を行っております。画像をより読むこと・より分かり易く作成することで、医療に貢献することができます。また、心臓カテーテル検査や血管造影検査では技師が検査に関わる部分が大きく、自分の知識や力を活かす場面も多くあり、全ての検査において自分に何が出来るのか、どんな知識が必要かを考え、実行することを心がけています。

地域医療を担う病院ということもあり、休日や夜間帯の対応も少ない中で、より良い画像を撮影・作成することで、質の高い医療画像を提供できるよう努めています。これからもより良い医療画像の提供ができるよう頭をフル回転させ、一生懸命頑張っていきたいと思っております。



本石 桂也
JCHO諫早総合病院
2014年 入職

多くの経験をし、チーム医療の一員として協力していける診療放射線技師になれるよう頑張ります。

JCHO人吉医療センターでは、一般撮影、CT、MRI、核医学のほかPET/CTや治療など様々なモダリティがあり、たくさんの経験を積むことができます。現在では、診療放射線技師の役割とされる読影の補助を果たせるように勉強会などに積極的に参加しています。まだ経験や知識が足りないとは思いますが、チーム医療の一員としての自覚と責任を持ち、他職種とのコミュニケーションを大切にして、誰からも信頼される診療放射線技師になれるよう一生懸命頑張っています。



福園 亮平
JCHO人吉医療センター
2015年 入職



待遇について

1) 給与 給与は独立行政法人地域医療機能推進機構職員給与規程により支給されます。

(平成30年4月現在)

採用1年目		大卒	短大3卒
月給	基本給	185,400	174,200
	諸手当込※	216,600	205,400

※諸手当・条件に応じて下記の手当が支給されます。

通勤手当、住宅手当、扶養手当、時間外手当、広域異動手当、地域手当（都市手当：勤務地により異なる）等
上記は、九州地区の病院勤務で通勤は車で5kmの距離、家賃55,000円の場合の例です。

通勤手当、住宅手当は条件により変わります。

- 賞与（年2回）、年度末賞与（医業収益が良好な病院に支給）

2) 休日・祝日等

4週間を通じて8日、他に国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）の休日



3) 休暇等

年次休暇（年20日 繰越日数最高20日 初年度は在職期間に応じ定めた数）、病気休暇、
特別休暇（夏季休暇、結婚休暇、出産休暇、配偶者の出産休暇、介護休暇、子の看護休暇、忌引き、災害被災時など）
その他：育児休業、育児短時間勤務、介護休業、自己啓発休業 等

4) 福利厚生

- ・健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- ・退職金制度
- ・院内保育所あり（下関医療センター・徳山中央病院・九州病院・久留米総合病院・佐賀中部病院・諫早総合病院）

5) ワーク・ライフ・バランス支援

- ・「育児短時間勤務」「育児休業」などの各種制度の確保
- ・院内保育所の整備
- ・常勤職員として採用後、本人のキャリアアップ、人材育成及びライフイベント（結婚・配偶者の転勤等）に配慮し、地域医療機能推進機構内の病院へ異動の希望を支援します。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

下関医療センター

住所：山口県下関市上新地町三丁目3番8号

TEL：083-231-5811

mail：main@shimonoseki.jcho.go.jp

担当：総務企画課 職員係

病床数：315床 宿舎：あり 保育所：あり

診療科：総合内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、
脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、
歯科口腔外科、血液内科、消化器外科、呼吸器外科、病理診断科、緩和ケア内科、
血管外科、糖尿病・内分泌内科、乳腺・内分泌外科



角島大橋



病院の特色：下関の古い町並みが残る界隈に当院は位置しています。すぐ近くには高杉晋作が最期を迎えた地が史跡として残っており、病院周辺を散策すれば、幕末から明治にかけて重要な地であった下関の往時が偲べれます。当院は315床、21診療科を擁する急性期病院として、急性疾患や救急疾患を中心に専門性の高い医療を提供することに努めています。加えて、併設の健康管理センター、介護老人保健施設、訪問介護ステーションを通じて、地域住民の健康維持や介護ケアにも力を注いでいます。

スタッフ	技師 17名 (男性 13名 女性 4名)
	看護師 6名 事務員 3名

職場長からのメッセージ



当院の放射線部は若い診療放射線技師が多く在籍し、調和のとれた人間関係の中で診療放射線技師として技術向上日々研鑽を重ねています。それぞれが役割を担い、自分自身の目標や課題に向かう姿は、一緒に仕事することに誇りが持てます。JCHO下関医療センターでは、技術だけでなく病院経営に貢献できる人材を育てることを大きな目標に掲げ、「規律」と「対話」を通じて取り組んでいます。JCHO九州地区すべての病院があなたを待っています。



診療部門		健診部門
CT装置 64列・16列 各1台	ポータブル撮影装置 2台	X線TV装置(胃) 2台
MRI装置 3.0T・1.5T 各1台	X線TV装置 2台	MMG装置 1台
血管撮影装置 1台	デンタル撮影装置(IP) 1台	一般撮影装置(胸部) 1台
SPECT装置 1台	パノラマ断層撮影装置 1台	健診巡回バス(胸部・胃) 2台
一般撮影室(FPD・IP) 2室	IVR検査室 1室	

入職4年目の私の気持ち

仕事への不安と期待を持って入職し、もう4年が経過しました。4年を振り返ってみると、さまざまなモダリティを担当させていただいています。近い世代の仲間と刺激しあい助け合いながら、目的意識をもって新しい業務に挑戦させてもらっています。そんな想いが可能になる職場です。



徳山中央病院



住所：山口県周南市孝田町1番1号

TEL：0834-28-4411

mail：soumu@tokuyama.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：519床 宿舎：なし 保育所：あり

診療科：内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、血液内科、糖尿病内分
泌内科、小児科、外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、リウマチ科、皮膚科
、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、ペ
インクリニック内科、心臓血管外科、歯科、歯科口腔外科、緩和ケア内科、精神科
、救急科、リハビリテーション科、病理診断科、臨床検査科

病院の特色：周南市・下松市・光市の3市で構成される人口約26万人を擁する診療圏の基幹病院です。ダ・ヴィンチ・サージカルシステム、ノリス（高精度放射線治療装置）、PET-CT、320列CT、ハイブリッド手術室等の最新鋭の医療機器設備を装備し、高度な医療の提供を目指すとともに救命救急センターや屋上ヘリポートを有し地域の急性期医療を担っています。三次救急病院として24時間の受入体制を整備し、地域の方々からは「とくちゅう」として親しまれています。地域がん診療連携拠点病院、小児救急医療拠点病院、地域周産期母子医療センター、地域災害拠点病院、地域医療支援病院等の指定を受けています。



職場長からメッセージ

320列CT・3TMRIをはじめ、PET-CTも導入、入職したら、まずは、ジェネラリストとして、そして将来は、スペシャリストを目指せます。

【理念】

- 〇患者さんに満足いただける検査を提供する
- 〇チームとしての高度急性期医療への対応

スタッフ

診療放射線技師：35名（うち女性10名）

受付事務：2名

若い女性技師の多い職場です

一般撮影	6室	FPD 9台	心臓カテーテル検査	2室	FPD搭載バイプレーン 1 FPD搭載シングルプレーン 1
MMG	1室	1台			
X線TV	8室	7台 シミュレータ 1台	核医学検査	2室	SPECT-CT 1台 PET-CT 1台
CT	3室	320列1台、64列1台、16列1台	放射線治療	2室	リニアック 2台
MRI	3室	3T2台、1.5T1台	移動型X線撮影装置		4台
骨塩定量	1室	1台	外科用Cアーム		3台
アンギオ	2室	FPD搭載バイプレーン1台 ハイブリッドOPE 1台	検診車	1台	胸部撮影 1台 X線TV 1台



放射線管理士
放射線機器管理士
医用画像情報精度管理士
第一種放射線取扱主任者
衛生工学衛生管理者
第一種作業環境測定士
放射線治療専門放射線技師
検診マンモグラフィー撮影認定診療放射線技師
核医学専門技師
医療情報技師



独立行政法人 地域医療機能推進機構

九州病院



住所：北九州市八幡西区岸の浦1丁目8番1号

TEL：093-641-5111（代）

mail：jinji@kyusyu.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：575床 寮・宿舎：あり 保育所：あり

診療科：整形外科、外科、呼吸器外科、消化器外科、胃腸外科、肝臓外科、胆のう外科、膵臓外科、乳腺外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、内科、呼吸器内科、消化器内科、胃腸内科、肝臓内科、胆のう内科、膵臓内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、代謝内科、内分泌内科、循環器内科、老年内科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、小児科、循環器小児科、新生児小児科、小児外科、精神科、神経内科、放射線診断科、放射線治療科、臨床検査科、病理診断科、麻酔科、ペインクリニック外科、救急科、リハビリテーション科、心臓リハビリテーション科

病院の特色

1955年に九州厚生年金病院として設立され2004年現在地に新築移転しました。病床数575床（ICU、NICU、HCU、緩和ケアを含む）、標榜科目46科の急性期医療施設として、北九州における基幹病院の役割を担っています。現在、診療放射線技師35名、放射線助手1.8名で放射線室を運営しております。近年、飛躍的に進歩する画像診断及び放射線治療の専門職として、我々診療放射線技師は各学会や団体の認定する資格を取得し、チーム医療に貢献できるように技術の研鑽を行っています。



職場長からのメッセージ



活気ある先輩技師と共にスキルアップ、キャリアアップを目指してみませんか。

【放射線室の理念】

- 1) 「病める人」の立場にたって、最良の医療情報・技術を提供する。
- 2) 放射線管理を徹底し、医療被ばくの低減に努める。
- 3) 医療の充実・発展のために日々研鑽し、将来の医療を担う優れた医療技術者の育成に努める。

主な画像診断機器及び治療装置

一般撮影	8室	FPD 9台、CR 4台、MMG装置 3台	核医学検査	1室	SPECT装置 1台
CT検査	3室	320列 1台、80列 1台、64列 1台	放射線治療	2室	リニアック 2台、治療計画用CT 1台
MR検査	2室	3T 1台、1.5T 1台		1室	マイクロセレクトロン 1台
骨塩定量測定	1室	1台	移動型X線撮影装置	3台、CR搭載型ポータブル装置 1台	
血管造影	1室	FPD搭載バイプレーン装置 1台		FPD無線型 1セット	
心臓カテーテル検査	2室	FPD搭載バイプレーン装置 2台	移動型X線透視装置	大口径DSA装置 1台、I.I型 3台	



第1種放射線取扱主任者	11名
放射線治療専門放射線技師	2名
放射線治療品質管理士	2名
磁気共鳴専門技術者	1名
X線CT認定技師	6名
Ai 認定診療放射線技師	3名
医療情報技師	1名
胃がん検診専門技師	5名
検診マンモグラフィ撮影認定技師	10名
肺がんCT検診認定技師	2名
臨床実習指導教員	2名
医療画像情報精度管理士	4名
放射線機器管理士	11名
放射線管理士	12名
医学物理士	1名



独立行政法人 地域医療機能推進機構

久留米総合病院



住所：福岡県久留米市榎原町21番地

TEL：0942-33-1211

担当者：総務企画課

mail：main@kurume.jcho.go.jp

病床数：175床 寮・宿舎：あり 保育所：あり

診療科：呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌代謝内科、循環器内科、腎臓内科、腎臓外科、一般外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、ペインクリニック内科、皮膚科、眼科、放射線科、精神科（リエゾン）、病理診断科、総合診療科、女性総合診療科、リハビリテーションセンター、外来化学療法センター、手術センター

病院の特色：当院は、福岡県久留米市の中心部にあります。保健（健康管理センター）、医療（病院）、介護福祉（介護老人保健施設）が三位一体となった複合医療施設です。健康診断から病気の治療、そして介護まで切れ目のない包括的な医療サービスを提供いたします。

全国に先駆け、女性外来・女性専用病棟を開設、乳がん治療や婦人科疾患治療で実績を積み、特に女性疾患治療の充実に尽力してまいりました。常に、地域のニーズに対応した医療を展開しています。



職場長からのメッセージ

放射線科診療部では、安心と安全、そして質の高い画像検査の提供をモットーに、日々進化していく画像診断技術を取り入れて利用者の皆様へ提供しています。健診と病院が併設された施設であり、放射線検査分野としては広範囲にわたり充実しています。診療放射線技師としては幅広い分野で技術を習得できることから、やり甲斐を感じあなたを活かせる病院だと思います。どうぞ一緒に働いてみませんか？

【病院理念】 地域社会との融和

個人の資質向上の為に第三者評価機関からの各種認定や資格を取得して、チーム全体で協力し業務を行っています。

（資格・認定一覧）

- ・肺がんCT検診認定技師・X線CT認定技師
- ・胃がん検診専門技師・Ai認定診療放射線技師
- ・検診マンモグラフィ撮影、認定診療放射線技師
- ・医療画像情報精度管理士・医療情報技師
- ・放射線管理士・放射線機器管理士
- ・IPパスポート・臨床実習指導教員
- ・第1種放射線取扱主任者

（主な装置）

- 診療部門**
- ・一般撮影装置 2台・マンモグラフィ装置 1台・X線TV装置 1台
- ・ポータブル撮影装置 1台・外科用イメージ 1台・MRI装置 1台(3T)
- ・CT装置 1台(64列)・SPECT装置 1台・骨密度測定装置 2台

健診部門

- ・一般撮影装置 1台・マンモグラフィ装置 1台・X線TV装置 2台
- ・健診車（胸部・胃部：DR）1台

放射線治療部門

- ・放射線治療装置 1台
- ・治療計画用CT装置 1台

スタッフ紹介

- 放射線科医師：2名
- 放射線治療医師：1名（非常勤）
- 診療放射線技師：15名
（男性：10名、女性：5名）
- 受付事務：3名



福岡ゆたか中央病院



住所：福岡県直方市大字感田523-5

TEL：0949-26-2311

担当者：総務企画課

mail：main@fukuoka.jcho.go.jp

病床数：162床 寮・宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、外科、乳腺外科、消化器科、心療内科、呼吸器内科、呼吸器外科、膠原病科、循環器科、整形外科、眼科、肛門科、皮膚科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科

病院の特色：当院は、病床数162床の急性期病院として、「地域包括ケアの医療の要」の機能を果たしていくことを第一の使命とし、地域の皆さまより深い信頼を寄せられ、地域の中核病院として活躍しています。「職員満足なくして患者満足なし」という方針のもと、働きがいのある病院づくりで、地域の方々のみならず、職員の皆さまからも「選ばれる病院」でありたいと、人材育成や職場環境づくりに力を注いでいます。

職場長からのメッセージ



放射線科では、最良の医療を提供すべく、CT、MRI装置と3D画像処理装置を用いて、手術支援科カンファレンスへの積極的参加などを行い、チーム医療へ貢献しています。またスタッフ教育は、装置ごとの教育計画に基づき指導を行っており、希望者への資格取得もサポートし、個人のスキルアップを推奨しています。

理念

私たちは、質の高い画像を安全・安心に地域の患者様に提供することで、選ばれる放射線科を目指します。

1. 私たちはチーム医療を推進します。
2. 私たちは常に進化し、高画質を提供します。
3. 私たちは患者様に満足いただける情報をお届けします。

資格・認定

X線CT認定技師・放射線機器管理士・放射線管理士
臨床実習指導教員
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師
第1種放射線取扱主任者

主な装置

《診療部門》

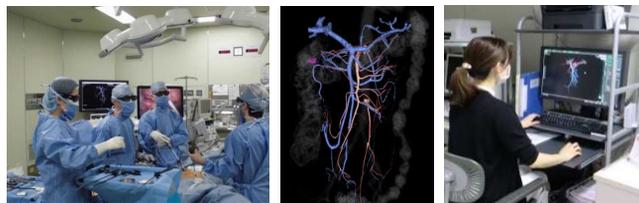
- ・一般撮影装置2台・乳房撮影装置1台（検診併用）
- ・X線TV撮影装置2台・ポータブル撮影装置2台
外科用イメージ1台
- ・MRI装置1台（3T）・CT装置1台（64列）・骨密度測定装置（全身用）1台

《健診部門》

- ・一般撮影装置1台・X線TV装置1台・骨密度測定装置（前腕用）1台
- ・DR健診車（胸部・胃部）2台

スタッフ紹介

放射線科医師 2名（常勤1名、非常勤1名）、診療放射線技師9名、受付 1名



佐賀中部病院

住所：佐賀県佐賀市兵庫南三丁目8-1

TEL：0952-28-5311

担当者：総務企画課

mail：main@saga.jcho.go.jp

病床数：160床 寮・宿舎：あり 保育所：あり

診療科：内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、外科、整形外科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、麻酔科、
脳神経内科、放射線科、病理診断科



病院の特色

昭和21年に設立され、平成8年に現在地に移転しました。

病院に健康管理センター、リハビリテーションセンター、介護老人保健施設を併設し、疾病の早期発見、治療、機能回復まで一貫した医療体制を整え、地域医療への貢献を目指しています。

職場長からのメッセージ



患者様には、迅速・丁寧・気配りを！

スタッフは、明るく楽しく向上心をモットーに業務を行っています。

平成28年末に待望の64列CT (GE：EVO)とワークステーション (VINCENT)、乳房撮影装置 (FPD搭載) に更新しました。

【理 念】

患者様を中心とした医療と高品質な
画像診断を提供いたします。

放射線科医師 1 名

診療放射線技師 8 名

モダリティ：一般撮影、X線TV、骨塩量測定、マンモグラフィ、CT、
MRI、ポータブル、外科用イメージ

健診業務有（施設内：胸部、胃部、マンモグラフィ）

マンモグラフィ検診施設画像認定

（教育など）

放射線部内ミーティング（毎月）

症例検討会、勉強会など





独立行政法人 地域医療機能推進機構

伊万里松浦病院

住所：佐賀県伊万里市山代町立岩417番地

TEL：0955-28-3100

担当者：総務企画課

mail：main@imari.jcho.go.jp

病床数：112床 寮・宿舎：なし 保育所：なし

診療科：内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、皮膚科、こども科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科



病院の特色：地域社会に根付いた医療を半世紀にわたり行っています。早期発見、早期治療を目指して佐賀県内一円及び長崎県北部の事業所の生活習慣病健診、事業所健診に力を入れています。JCHOグループ病院として、地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域の実情に応じた運営に努めています。



職場長からのメッセージ

地域の中核病院として、診療業務・健診業務に取り組んでいます。何事にも積極的に取り組むあなたを必要としています。

【理念】

地域医療に貢献できるように日々精進し、安全で安心して受けることができる検査を提供します。

放射線科は、現在4名の診療放射線技師で業務を行っています。

伊万里松浦病院の理念である

- ① JCHOの方針に基づいた地域医療への貢献
- ② 良質かつ適切な医療
- ③ 健診事業の充実

に基づき、「病む人の気持ち」をくんだ心のこもった医療を提供できるよう努力しています。また、他部署との連携を強化して、地域医療に貢献できるよう日々精進し、安全で安心して受けることができる検査を提供していきたいと考えています。



健診事業の充実



当院は健診事業を積極的に行い、受診者の健康の保持増進に貢献していきたいと考えています。院外健診では、2台の健診車が、早朝から佐賀県全域・長崎県北部の事業所を巡回しています。

【装置】

- 胸部撮影装置 1台
- CR撮影装置 2台
- X線透視装置（FPD）2台
- CT装置 1台
- 乳房撮影装置 1台
- 骨塩定量装置 1台
- 回診用撮影装置 1台
- 外科用イメージ 1台
- 健診車 2台
（デジタル胸部・胃部搭載）
- 医用画像サーバー



諫早総合病院

住所：長崎県諫早市永昌東町24番1号

TEL：0957-22-1380

担当者：総務企画課

mail:soumu@isahaya.jcho.go.jp

寮・宿舍：なし 保育所：あり

病床数：323床 一般病床315床（うちICU8床）、結核病床8床

診療科：内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、精神科、腫瘍内科

職員数：約 570名



病院の特色：当院は急性期病院として、諫早・島原半島の人口約20万人の医療圏において医療を提供しています。病床数323床、診療科22、健康管理センター、透析センター、内視鏡センター、がん治療センターを併設しており、地域医療支援病院・災害拠点病院・救急告示病院・認知症疾患医療センター・がん診療連携推進病院等の指定を受け、地域に密着した安心・安全な医療の提供に努めています。



職場長メッセージ

放射線部はメディカルスタッフとして、安心して安全な最良の医療を提供するために、日々研鑽して知識の向上に努めています。他部門と職員同士も仲が良く、アットホームな病院です。

【理念】

1. 診療に最適な医療画像を提供する
2. 知識の向上をはかり最新の医療を提供する
3. 情報を共有し安心して安全な最良の医療を提供する

(スタッフ紹介) 診療放射線技師：22名 放射線科医師：5名 看護師：7名 受付事務：5名

【診療放射線技師の仕事】

診療部門	一般撮影	3台
	ポータブル撮影装置	3台
	X-TV	1台
	マンモグラフィ撮影装置	1台
	マンモトーム	1台
	外科用イメージャー	2台
	CT撮影装置	2台
	MRI装置	1台
	アンギオ装置	1台
	心カテ装置	1台
	超音波診断装置	3台
	血管内超音波断層装置	1台
検診部門	ラジオ波焼灼療法	1台
	一般装置	1台
	X-TV	2台
	マンモグラフィ撮影装置	1台
放射線治療部門	X線骨密度測定装置	1台
	放射線治療装置	2台
	放射線治療計画用CT装置	1台

認定診療放射線技師

放射線機器管理士7名・放射線管理士8名・医療画像情報精度管理士6名・臨床実習指導教員1名・X線CT認定技師 3名・肺がんCT検診認定技師2名・救急撮影認定技師1名・放射線治療専門放射線技師2名・放射線治療品質管理士2名

一般撮影検査



CT検査



MRI検査



マンモグラフィ検査



超音波検査



血管造影検査



放射線治療



熊本総合病院

住所：熊本県八代市通町10番10号

TEL：0965-32-7111

担当者：総務企画課

mail：main@kumamoto.jcho.go.jp

病床数：344床（一般340床・感染4床） 宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、腫瘍内科、感染症内科、アレルギー疾患内科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、胃腸内科、内視鏡内科、神経内科、腎臓内科、人工透析内科、糖尿病内科、内分泌内科、代謝内科、脂質代謝内科、総合診療科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、腫瘍外科、肝臓外科、

脾臓外科、胆のう外科、食道外科、胃外科、大腸外科、内視鏡外科、疼痛緩和外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、アレルギー科、麻酔科



病院の特色：当院は、「機能を溢れる高度急性期病院」であるのみならず、「八代のランドマークとなって新しい美しい街創りに貢献する病院」です。「医療と共に公に一肌脱ぐ」、「職員自身がかかりたい病院にする」をモットーに、職員全員がプロとして質の高いチーム医療ならびに満足度が高い接遇の提供に努めています。教育では、各個人の持つ多様なキャリアデザインのニーズに対応した人材育成を行っています。職員にとって働きがい・魅力のある病院です。



職場長からのメッセージ

各部門に最新最上級モダリティを導入しており、放射線技師として大変やりがいのある職場です。

【理念】

『最新の医療を情熱を持って実践する』

『自分自身がかかりたい医療を行う』

の病院理念に基づき、さまざまな最新医療装置を用いた高精度で安全な検査及び治療を迅速、適切に行い地域住民に信頼される医療を行います。

【人材育成】

最新の知識技術を習得するため、日頃から院内での術前術後カンファレンスなどに出席、県内外での研究会へも積極的に参加発表を行い、各認定専門資格の取得にも努めています。

【取り組み】

チーム医療を重視し、部内外のスタッフとも常に連携をとりながら患者さまに安心満足される医療を実践しています。



【認定・専門資格】

- 第1種放射線取扱主任者
- 医学物理士
- 放射線治療品質管理士
- 放射線治療専門放射線技師
- 検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師
- 医療画像情報精度管理士
- 放射線管理士
- 放射線機器管理士
- X線CT認定技師
- 医療情報技師
- 核医学専門技術者

【主な装置】

- MRI 2台(3T、1.5T)
- CT 2台(64列、16列)
- 放射線治療装置1台
- 血管造影装置 2台
- SPECT CT 1台
- ESWL 1台
- 透視装置 2台
- マンモグラフィ装置 1台
- 骨密度測定装置 1台
- 検診車 1台





独立行政法人 地域医療機能推進機構

人吉医療センター



住 所：熊本県人吉市老神町35番地

T E L：0966-22-2191

担当者：総務企画課

mail：main@hitoyoshi.jcho.go.jp

寮・宿舎：なし

病床数：252床

診療科：糖尿病、代謝内内分泌内科、呼吸器内科、血液内科、循環器内科、小児科、消化器内科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、画像診断センター、産婦人科、麻酔科、総合診療部、病理診断科、救急科、リハビリテーション部、相談支援センター、がんケアセンター

全人医療

“140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します”の理念のもと、地域の医師会、大学、行政、住民の皆様と協力して5疾病5事業を始めとして地域の医療・介護福祉に貢献していきます。また、人吉球磨地方だけでなく南九州3県県境地域を診療域とし地域包括ケアに必要な総合診療医を育成する体制も整えています。予防から治療・緩和ケア・在宅支援まで当院が目指している全人医療を提供します。

診療目標

地域の中核病院として各地域の先生方のニーズに対応できるようCT、MRI核医学などの画像診断検査を迅速かつ丁寧に行うよう心がけるとともに、放射線障害の発生を防止し、あわせて公共の安全を確保するために適切な放射線管理を行いながら、地域医療へ還元できるように研鑽を積んでおります。また、放射線治療は、非常勤の治療専門医と共同で治療を行い、遠隔画像診断を活用することにより、治療専門医と緊密な対応に努めています。

職場長からのメッセージ

「とても明るく働きやすい職場です。また、モダリティもいろんな装置が配置されているため多く経験ができると思います。」

スタッフ

放射線科医師：3名（非常勤1名） 放射線治療医師：2名（非常勤）

診療放射線技師：20名（女性6名） 看護師：3名 クラーク：1名

装置

一般撮影	1台	X線TV	1台	X線TV(トモシタ)	1台
MRI (3T/1.5T)	各1台	PET/CT	1台	CT(256列/64列)	1台
心臓カテーテル	1台	血管造影	1台	RI	1台
ポータブル	1台	外科用イメージ	2台	乳房撮影(トモシタ)	1台
簡易デンタル	1台	放射線治療	1台	デンタル・パントモ	各1台
一般撮影 (検診)	1台	X線TV (検診)	2台	骨密度測定	1台
検診車	1台	ハイパーサーミア	1台		



住所：熊本県天草市東町101番地

TEL：0969-22-0011

担当者：総務企画課

mail：soumu@amakusa.jcho.go.jp

病床数：155床 寮・宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、
歯科口腔外科、麻酔科



病院の特色

- 専門医療の充実と他診療科との連携
- がん診療、治療の充実
- 熊本県産科中核病院・熊本県地域新生児中核病院
- 看護体制（認定看護師による看護の質向上）
- 地域医療連携の強化
- 救急医療の充実
- 画像診断
- 健診業務の充実
- 高齢者の疾患対策
- 附属介護老人保健施設との連携による医療介護

職場長からのメッセージ

放射線部は、放射線科医も含め個性豊かな人達が従事しています。他の部署と連携を図りチーム医療を実践しています。

また、診療放射線技師学校(2校)から臨床実習生の受け入れなどもしています。

理念

1. 放射線の撮影に関する技術を最高の水準に保ち、その職域の発展に努め、質の高い技術を患者様に提供します。
2. 職分を守り医療関係者と円滑な協力を保ち、医療との連携に努め、患者様に満足なサービスを提供します。
3. 常に専門的な知識と技術の研鑽を図り、専門職として医療被曝の低減に努めながら医療の向上に努めます。

診療放射線科医2名、治療放射線科医(非常勤)1名、診療放射線技師8名、非常勤診療放射線技師1名にて以下の装置を使用しローテーションにより検査、治療を行っています。

装置 一般撮影装置(東芝製)2台、X線透視装置DR(東芝製)2台、CT装置(GE製32列(平成30年度64列更新予定)、GE製16列)、MRI装置(GE製3T)、RI装置(GE製)、治療装置(ELEKTA製)、外科用イメージ装置(OEC-9900GE製)、乳房撮影装置マンモトーム(日立製)、回診用X線装置(東芝製)2台、骨密度装置(GE製)、腹部超音波検査(GE製)、乳房超音波装置(東芝製)、健診車用DR(胃部：日立製、胸部：キャノン製)





独立行政法人 地域医療機能推進機構

南海医療センター

住所：大分県佐伯市常盤西町11-20

TEL：0972-22-0547

担当者：総務企画課

mail：main@nankai.jcho.go.jp

勤務体制：時間外は自宅待機で対応（4～5回程度/月）

病床数：260床 寮・宿舎：あり

診療科：内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科（休診中）、皮膚科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、放射線科、リハビリテーション科、循環器内科、麻酔科



新病院2020年完成予定

病院の特色：大分県南の中核病院として急性期医療を担っています。（消化器外科等の手術、透析、心臓カテーテル治療、消化器・血液内科等の化学療法等）

また、新病院建築に向けて、災害拠点病院、DMAT指定病院としての機能を発揮し、質の高い医療を提供することを方針にあげています。

スタッフ

放射線科医：非常勤対応

診療放射線技師：11名（女性2名）

【理念】

患者様が安心して検査を受けられるように安全管理に努め、より良い医療サービスを提供します。

知識と技術の向上に努め、正確な画像情報を提供します。



画像診断センターの主な装置

X線撮影装置2室（CR）・CT（320列）・MRI（1.5T）・血管撮影装置2台（FPD）・X線TV装置2台（FPD）

乳房撮影装置（FPD）・ガンマカメラ・ポータブル3台・外科用イメージ2台

健診センターおよび健診車（X線撮影装置/X線TV装置）

★放射線部の主なモダリティ★

CT



320列AreaDetector搭載

マンモグラフィ



FPDデジタルマンモグラフィー

MRI



1.5T MRI

ガンマカメラ



機能・形態を評価するRI検査

血管造影（心臓用）



FPDバイプレーン装置

湯布院病院

住所：大分県由布市湯布院町川南252

TEL：0977-84-3171

担当者：総務企画課

mail：main@yufuin.jcho.go.jp

病床数：273床 寮・宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、循環器内科、整形外科、リハビリテーション科、神経内科、心療内科



病院の特色：温泉観光地「湯布院」という豊かな自然環境のなか、リハビリテーションを核とした地域医療を推進しています。大分県リハビリテーション支援センター（県リハ支援センター）として大分県から委託され、6圏11広域支援センターおよび19の職能団体と協力して地域リハビリテーションの啓蒙・普及に努めています。また、県リハ支援センターが事務局となっている大分災害リハビリテーション推進協議会（大分JRAT）と大分県で「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定書」を締結して、災害時における被災者の医療救護の協力をおこなっています。由布地域包括ケア推進協議会（実施主体：湯布院病院、地区医師会、中部保健所）では、由布市から委託されて主体的・実践的に協働しています。

職場長からのメッセージ



一緒に働きませんか！
魅力はチームワークの良さ！
未来に向かって、共に学べる
職場です。

【放射線科の理念】

1. 患者さんの視点に立って、安全に日常業務を遂行する。
2. チーム医療を担う専門職として、他職種との連携を強める。
3. 画像読影力を身につけ、診療レベルの向上に貢献する。

放射線科部門は診療放射線技師5名体制で、休日を含め24時間対応で迅速に業務を行っています。

放射線科で行える検査は、X線撮影検査、X線CT検査、MRI検査、X線透視検査、骨密度測定検査です。

手術室ではナビゲーションシステムや術中X線透視の業務も行っていきます。

近隣施設からの紹介検査も行っており画像データと読影結果を提供しています。

電子カルテ運用と同時に放射線情報システムを導入し、画像検査オーダーから画像・レポート報告までを一連で管理しています。

新しい検査技術取得や知識の向上に向けて学会への出席、学術発表、保健衛生学士・医療画像情報精度管理士・放射線管理士・放射線機器管理士などの認定資格取得等を積極的に行いスタッフの育成にも力を入れています。



〈 取得資格者の名称 〉

- ・医療画像情報精度管理士 ・放射線管理士
- ・放射線機器管理士 ・X線CT認定技師
- ・死亡時画像診断（Ai）認定放射線技師
- ・保健衛生学士 ・第1種放射線取扱主任者
- ・第2種放射線取扱主任者

宮崎江南病院



住所：宮崎市大坪西1丁目2番1号

TEL：0985-51-7575

担当者：総務企画課

mail：main@miyazaki.jcho.go.jp

病床数：269床 寮・宿舎：なし 保育所：なし

診療科：内科、外科、整形外科、形成外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、循環器内科

病院の特色

1. 地域医療支援病院である
2. 形成外科認定施設である
3. 急性期から慢性期に至る患者を対象としている
4. 宮崎NST研究会の幹事病院で、NST教育認定施設である
5. 訪問看護ステーションを併設し、在宅緩和医療を支援している

目標

1. 安全で信頼される検査結果の提供を行います。
2. 地域医療機関からの検査依頼の受け入れを円滑に行い、地域医療の発展に貢献します。
3. 高度な医療情報の提供に努めます。

職場長からのメッセージ

男性技師6名、女性技師5名の
明るい職場です。
患者様とのコミュニケーションを大切に
職務に取り組んでいます。



放射線部では、一般撮影をはじめ、CT、MRI×2(1.5T・3.0T)、RI、血管造影検査、X線TV等の検査を行っています。

また、地域医療支援病院として、地域医療機関からの検査依頼の受け入れを迅速に行い、地域の医療の発展に貢献できるよう努めています。

健康管理センターにおいても、肺がん検診、胃X線造影検査、CT検査、女性放射線技師によるマンモグラフィや乳腺エコーの検査を実施しており、地域住民の皆様の健康管理のお手伝いをさせて頂いております。

また、コメディカルを対象とした、院内の定期的な「放射線部内検査に関わる勉強会」の開催、地域医療機関との合同勉強会を開催し医療情報の共有を図っています。スタッフ間のコミュニケーションも良好で働きやすい職場です。



JCHO九州地区



JCHO九州地区

独立行政法人地域医療機能推進機構 九州地区事務所

〒806-8501

福岡県北九州市八幡西区岸の浦1-8-1

☎ : 093-641-9744(代表)

Fax : 093-641-9110

<http://www.jcho.go.jp/chikukyusyu/>